

鉄鋼技術情報センター

鉄鋼技術情報センター新着図書

照会先：鉄鋼技術情報センター 電話 03-3241-1228

書 名	著者・編集者名	出版年	頁数
省エネルギー便覧 平成 2 年度版	省エネルギーセンター	1990	206
結晶界面 —基礎から設計まで—	日本鉄鋼協会	1990	225
アムストラクター 調査研究報告 I	応用物理学会	1990	424
界面 調査研究報告 II	応用物理学会	1990	509
最近の分析・解析技術の進歩(第 19 回白石記念講座)	日本鉄鋼協会	1990	109
鉄鋼 JIS の SI 単位化対応指針	日本鉄鋼協会	1990	32
Guidelines for the Changeover of Units of JIS Steel Standards to SI Units	日本鉄鋼協会	1990	20
工業計器ガイドブック '90/91	日本電気計測器工業会	1990	329
海洋構造物の建設に伴う計測とその技術	国際海洋科学技術協会	1990	257
鉄鋼二次製品年鑑 平成 2 年版	鋼材倶楽部	1990	259
鉄鋼製品の磁粉探傷法	日本鉄鋼協会	1990	183
鉄鋼製品の渦流探傷法	日本鉄鋼協会	1990	188
鉄鋼製品の漏洩磁束探傷法	日本鉄鋼協会	1990	135
非磁性鋼における最近の進歩	日本鉄鋼協会	1990	280
鉄鋼 JIS が SI 単位に変わります(下敷き)	日本鉄鋼協会	1990	2
設計における信頼性工学シンポジウム(第 10 回) 前刷集	日本材料学会	1990	229
永井科学技術財団賞(第 1 回～第 7 回) 受賞研究論文概要集	永井科学技術財団	1990	254
南ヤクート炭プロジェクトのあゆみ	南ヤクート炭開発協力(株)	1990	347
愛知製鋼 50 年史	愛知製鋼	1990	385
「労働力実態調査」報告書	日本鉄鋼協会	1990	15

ISO 幹事国活動

1. 国際規格発行に関する進捗状況

(1) ISO 規格が発行されたもの: 1 件

ISO 10065 (SC 16): 鉄筋用鋼—曲げ, 曲げ戻し試験

(2) DIS が登録されたもの: 1 件

DIS 10697-1 (SC 1): Sol Ca—原子吸光法

2. ISO 中央事務局関係

IEC/ISO Directives メンテナンス・チームの第 1 回目の報告書が 9 月の技術委員会 (Technical Board) で検討され, 約 50 項目に及ぶ修正案が承認された。近く Amendment として発行される予定。大半は不明瞭な点を明確にするものであるが, 次の一点は注目される。すなわち,

—DIS 投票の際, 技術的な理由を示さない反対票は, 棄権と同じ扱いにしてカウントしない—。

(ISO TC Communiqué No. 22—1990 年 11 月—より)

3. TC 17 (鉄鋼) 関係

(1) 常温及び高温降伏点, 耐力最低値の誘導方法の調整

第 7 回 TC 17/EC 会議の決議に基づき, EC 会議出席者に今までの討議資料を参考に送付して, 内容の再認識を願った上で, TC 17 直属の Working

group を設置してさらに検討する価値があるか意見を求めている。

(2) 欧州地区各 SC 事務局のワードプロセッシング用機器の調査結果を表にまとめ, 確認のため各 SC 事務局へ送付した。

(3) ボロン鋼を新たに新規項目として取り上げることの是非を問う質問状が SC 4 Secretariat より発行された。(既に実質討議は開始しているが正規の手続が欠如しているため, 中央事務局のコンピュータに登録されておらず, 当方より手続を要求したもの)

(4) 耐食コーティング鉄筋を新規項目として取り上げることの是非を問う質問状が SC 16 Secretariat より発行された。これは昨年 6 月の SC 16 会議で提案された 4 項目の中の一つである。

4. TC 17/SC 1 (化学成分分析) 関係

(1) Approval stage (stage 4): CD 10697-1 (Sol Ca—原子吸光法) が DIS として登録された。

(2) 下記 3 件の ISO 規格につき 5 年定期見直しの Voting が開始された旨中央事務局より連絡あり。
ISO 4829-1: 1986 (Si—吸光光度法)
ISO 4937: 1986 (Cr—電位差・目視滴定法)
ISO 4947: 1986 (V—電位差滴定法)

(3) 関連情報・予定など

① 「ICP ガイドライン」検討合同会議日時決定 (1991.1.30, 主催 AFNOR/Paris)

ISO/TC 17/SC 1/WG 12 「鉄鋼」

ISO/TC 155/SC 4/WG 7 「ニッケル合金」

ISO/TC 102/SC 2/WG 30 「鉄鉱石」

②「各国及び国際機関鉄鋼分析委員会」議長会議日時決定 (1991.5.13, 於 Luxemburg)

③ECISS/TC 20 pr EN 10200 (B—吸光光度法) ドキュメント入手 (COCOR にかけるための Voting)

5. TC 67/SC 5 (油井管) 関係

第 1 回 TC 67/SC 5 諮問部会を開催し、下記の結論を得た。

①最初の課題として API Spec 5 CT, 5 D の ISO 化を考える。

②TC 67/SC 5 の中に上記①を前提として Working group の設置は不要と判断する。

③上記 2 規格について、API と ISO の間にて内容の規定のやり方に差があり、問題点の摘出をまず行い、次回諮問部会で討議する。

6. 国際会議 (向こう 3 か月間の予定)

(1) TC 17/SC 19/WG 1 (鋼管の非破壊検査)

1991 年 2 月 20~22 日, ミラノ

注) 2 月 18 日よりデュッセルドルフで行われる予定であった TC 17/SC 4 会議は湾岸情勢を考慮し延期された。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

会議ダイジェスト

理 事 会

・第 6 回理事会

開催日: 12 月 18 日

出席者: 森田会長, ほか 33 名

1. 鉄鋼研究振興資金について
2. 日本鉄鋼協会諸規程について
3. 日本学術会議公開講演会共催について
4. 日本学術会議第 15 期会員推選について
5. 鉄鋼工学セミナー小委員会小委員長交替について

編集委員会

・第 10 回和文会誌分科会

開催日: 1 月 11 日

出席者: 雀部主査, ほか 32 名

1. 19 件の論文審査報告がなされ, 掲載決定 12 件, 照会後掲載可 5 件, その他 2 件であった。
2. 「鉄と鋼」第 77 年第 5 号 (5 月号) に論文 8 件, 技術報告 3 件, 掲載決定した。
3. 解説等 6 件の依頼を決定した。
4. 平成 2 年の「鉄と鋼」原稿投稿数,

ページ数等の推移を過去 3 年と比較しながら報告した。

平成 2 年は次のとおりであった。

- 1) 論文等投稿数: 221 件
- 2) 論文等掲載数 (ページ): 202 件 (1560 ページ)
- 3) 啓蒙記事掲載数 (ページ): 52 件 (463 ページ)
- 4) その他ページ数: 205 ページ
- 5) 総ページ数: 2228 ページ

・第 5 回講演大会分科会

開催日: 1 月 18 日

出席者: 小野主査, ほか 63 名

第 121 回 (平成 3 年春季) 講演大会の講演プログラム編成を, 和文会誌分科会, MP 専門委員会の協力を得て行われた。

一般講演 688 件, 討論会 6 テーマ 57 件が, 16 会場に編成された。

研究委員会

・第 3 回研究環境実態調査小委員会

開催日: 1 月 11 日

出席者: 布村委員長, ほか 4 名

1. アンケート調査結果により下記項目について討議
- 1) 大学研究環境の実態についてのまとめ方
- 2) 企業における研究環境について
- 3) 研究委員会への中間報告

特定基礎研究会

・第 5 回充填層中の気・固・液移動現象部会

開催日: 1 月 16, 17 日

出席者: 八木部会長, ほか 21 名

1. 特基研運営委員会報告
2. 各ワーキンググループ会議報告 WG 世話人から 5 件
3. 大学側委員の研究進捗状況報告 大学側研究委員から 10 件
4. 研究の総合化に関する討議
5. その他 次回および次々回の部会開催スケジュール等について

基礎研究会

・第 5 回ベイナイト調査研究部会

開催日: 1 月 9 日

出席者: 荒木部会長, ほか 15 名

1. 依頼講演「亜共析鋼のベイナイト変態」講師 鳥取大学工学部 岡本尚機
2. 英国における関連研究の紹介
3. 中国 HSLA STEELS '90 国際会議における関連事項報告
4. 写真集編集 WG 第 1 回会合報告および今後の予定について
5. ベイナイト的ミクロ組織に関する討議